

総理！
何が秘密か
教えてください！

国が
「秘密」を
増やしてく

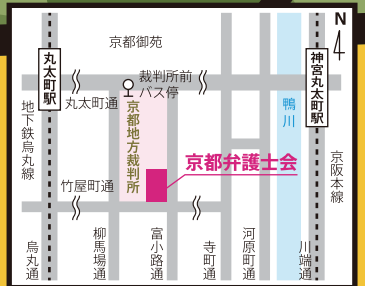
開催日

2024年12月21日(土)
14:00～16:15 (13:30開場)

開催場所

京都弁護士会館
地階大ホール

京都市中京区富小路通丸太町下る
または
Zoom(オンライン開催)
ウェビナーID 924 3272 3989



※当館に駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

京都弁護士会
KYOTO BAR ASSOCIATION

この国の秘密保護法制を 今考えてみませんか？

特定秘密保護法が施行されて今年12月で10年となります。テレビドラマVIVANTのもととなる『自衛隊の闇組織 秘密情報部隊「別班」の正体』（講談社現代新書）を書かれた石井暁さんは丹念な取材に基づいて「別班」問題を報道し、シヴィリアンコントロールなき自衛隊が存在することを明らかにしました。しかし同法の施行により取材の自由が大幅な制限を受け、この問題は闇の彼方に追いやられようとしています。今年5月には経済秘密保護法（重要経済安保情報の保護及び活用に関する法律）が制定され、特定秘密保護法の守秘義務と適性評価（＝身辺調査）制度が、民間労働者にまで適用されることとなりました。他方で今年7月には自衛隊において特定秘密保護法に規定する守秘義務規制、適性評価制度が「機能不全」に等しい状況に陥っていたことが発覚し、同法の立法事実の存否が問われる大問題となりました。このような秘密保護法制をこのままにしておいて良いのか？ジャーナリストの石井暁さん、青木理さん、秘密保護法制問題の第一人者である海渡雄一弁護士をお招きしてパネルディスカッション方式で詳しくお話を伺い、深めたいと考えています。



イベントプログラム パネルディスカッション



石井 暁 さん
いしい ぎょう
ジャーナリスト
共同通信社編集委員
立命館大学客員教授

1985年共同通信社入社。1994年から防衛庁、防衛省を30年以上担当。著書に「自衛隊の闇組織—秘密情報部隊「別班」の正体」（講談社現代新書）＝TBS日曜劇場「VIVANT」参考文献。月刊誌『世界』（岩波書店）12回に渡り寄稿（『「国のかたち」の一方的な変更は許されない」青井未帆・学習院大教授との対談記事（2024年6月号）等）。テレビ朝日、BS-TBS、テレビ東京、TBS等の報道番組にも多数出演。映画「シン・ゴジラ」にも取材協力。辺野古密約報道で沖縄タイムス阿部岳編集委員と「むのたけじ地域・民衆ジャーナリズム賞大賞」「メディア・アンビシャス大賞」「ジャーナリズムZ賞」を受賞。



青木 理 さん
あおき おさむ
ジャーナリスト

共同通信記者を経て、現在はフリージャーナリスト。ノンフィクション作家。主な著書に『日本の公安警察』（講談社現代新書）、『国策捜査』（角川文庫）、『日本会議の正体』（平凡社新書）、『時代の抵抗者たち』（河出書房新社）がある。



海渡 雄一 さん
かいど ゆういち

第二東京弁護士会
秘密保護法対策弁護団
共謀罪対策弁護団

開催日

2024年 **12月21日** (土)
14:00～16:15 (13:30開場)

参加方法

参加費無料 事前申込不要

開催場所

京都弁護士会館 地階大ホール

京都市中京区富小路通丸太町下る
または Zoom(オンライン開催)
ウェビナーID 924 3272 3989 ▶



お問合せ

075-231-2337
平日 9:15-12:00 / 13:00-16:30

主催／京都弁護士会 共催／日本弁護士連合会(予定)・近畿弁護士会連合会(予定)